

Channel MORIOKA

アマチュア無線盛岡クラブ

SINCE 1949

平成15年4月号

JA7YCE

ホームページ <http://member.nifty.ne.jp/ja7yce/>

岩手県支部通信コンテスト

第25回岩手県支部通信コンテストが、オール東北コンテストと同時に開催されます。初心者向けのコンテストですので、コンテスト未経験の方も奮ってご参加下さい。

日時 4月19日(土) 21:00~20日(日) 12:00
詳細 JARLニュース4月号参照のこと

カリブ運用記

— その3 V4編 —

JR7HAN/1 花野峰行

さらに余談ですが、今回訪問した中ではJ6、J7、V4は全て通貨がEastern Caribbean Dollarで同じです。これは、これらの国々は独立国ではありますが、人口が小さく経済圏が小さいため、独自の通貨を運営しても大変なので、旧英国領の国々で連携して一つの通貨を運営しているわけです。人口は、J6が約16万人、J7が約7万人、V4が約4万人です。なお、これらの国々では、米ドルも問題なく使えますので(ただし、交換レートの若干不利なようですが)、短期間の訪問の場合は、無理に換金する必要もないかもしれません。クレジットカードも、よほど小さな店でない限りは普通に使えます。

この島は、ほぼ円形をしており、中央に第四紀の火山であるネビスピークがあります。最後の噴火は約三百年前とのことのようにです。イメージ的には三宅島を少し大きくした感じです。温泉も湧いており、露天風呂がありました。また、海中にも多数の温泉噴出があり、シュノーケルが出来れば、潜って見る事ができるそうです。

さて、この日の午後は彼に連れられ、彼の職場の人達のクリケットとシーフードBBQにお邪魔させていただきました。旧英国領だったためか、クリケットが盛んです。これは他の旧英国領の島も同じで、セントルシア(J6)やトリニダード・トバゴ(9Y)でもそうでした。私もやるかと聞かれましたが、ルールもやり方もさっぱり分かりませんので、見学だけにさせていただきました。

BBQはシェルフィッシュという、一見カワハギに似た魚ですが、皮膚が六角形の甲羅状になっている鱗のない魚でした。カレー味の詰め物をしてホイル焼きにしていたのですが、カワハギと同じ味で非常においしかったです。食事の前後に盛んにビールを勧められました。夕方からはJA向けの運用ですので1本だけでガマンしました。

夕方になり、私がそわそわしているのに彼も気付いたようで、薄暗くなる前に自宅に連れて行ってくれました。彼の家は、見晴らしのいい斜面にある綺麗な平屋の家で、20m高のタワーの上にA3Sが乗っています(7メガのDP付き)。ローバンド用にはG5RVがありました。これはDXは出来ません。リグはFT990で、CWフィルターは付いているはずとのことでしたが、結局付いていませんでした。彼はCWの運用はほとんど全くしないのです。リニアはドレークのL4-Bがありました。前週のWW Phoneの時に米国人グループに急遽貸し出したとのことで、オンオフ制御用のケーブルが切れていました。つなぎ直して使おうか、と彼は言いましたが、JAのパスが既に開いている時刻(22Z)になっていましたので、そのまま100Wで出ることにしました。

コールサインは、もう少し時間があればビジター用のV47コールを手配できたのに、とのことでしたが、今回は彼のシャックから、彼の監視の下でのゲスト運用ですので、彼自身のV44NEFかV4/JR7HANのどちらで出てもいいとのことでした。そこで、当然ですが、後者のV4/JR7HANにしました。彼がもう少し早く返事をくれればV47のコールで出られたのに残念です。

なお、今回彼の自宅の電話番号が分かりましたので、次に行かれる方は先ずは電話で連絡を取った方がよさそうです。必要な方は私までお尋ね下さい。彼は基本的には、来客運用大歓迎のようです。専用の無線室にはベッドもありますので、うまくお願いすれば泊まり込むこともできるかもしれません。ポイントは奥さんに気に入られることでしょうか。私は、お土産に持参したきれいな扇の置物が気に入ってもらえたようで、愛想良く食事を出して下さいました。

さて、運用開始です。この土日は、運悪く、CWバンドでは米国のコンテストをやっており、通常のCW周波数ではとってJAを探せる状況ではありませんので、先ずは21.185のSSBでCQを出してみました。ただちにJH8BKL川瀬さんから呼ばれましたが、後が続きません。情報を流してあるはずの岩手勢からも呼ばれません。CQ連呼に疲れてしまい、少し上の21.195を聞いてみると毎度おなじみのJA8FCG関さんが強力に入感しています。声を掛けてみると、QRTするとのことでしたので、その周波数を使わせてもらいましたところ、たちまち数十局のJAから呼ばれました。

しかし、その後が続きません。いくらCQを出してもダメなので、やむなくその周波数でCWをやることにしました。たちまち数十局のJAと交信できましたが、やはりCWフィルターの無いリグでのスプリット運用は容易ではありませんでした。そうこうするうちにJAのパスも終わり、Wと遊んでいたら22時近くになりましたので、この日はここで失礼することになりました。アールが宿まで車で送ってくれ、翌朝は8時半に迎えに来てくれることになりました。なお、この日は、FGでは交信できなかったJA7SN金森さんとも交信できました。

翌11月3日(日)の朝、ホテルで朝食を終えて待っていたところ、ほぼ約束の時間通りに彼が迎えに来てくれました。しかし、帰宅がてら、彼の農場の見回りに行くとのことでしたが、これに思いがけず時間がかかってしまい、JAの夜のパスには間に合いませんでした。

この日は、JAのパスも終わった後からの運用でしたので、JR7FBR吉田さんからお借りしたFT100Dを使うことにし、アールに頼んで電源へつないでもらいました。FT990は中身はFT1011と同じらしいのですが、電源は外部からDCを供給するようになっています。今回この電源が使えたのはラッキーでした。これで、CWフィルターが使えますから、100Wの運用には大助かりです。これで、現地の午前10時過ぎからお昼過ぎまで、WやEUを相手に、CWやSSBを行ったり来たりしながら遊びました。

お昼過ぎになり、おいしいスープのお昼を頂いた後、アールが全島一周の観光ツアーに連れて行ってくれました。どうせ地熱地帯を調査するため、翌日車を借り切って個人ツアーをする予定でしたから、渡りに船です。地熱地帯や温泉の場所などをおねだりして連れて行っていただきました。なお、彼は地熱地帯にはあまり行ったことがないようでしたので、私が事前に調べてあった情報に基づいて近所まで行き、その周辺で彼の知人に尋ねてくれて目的地まで行きました。

このあたりでは知り合いが尋ねてきたら飲み物を出すのが礼儀のようです。このため、あちこちでドリンクをごちそうになりました。高温多湿の土地柄ですから喉が潤ってしまっただけでは脱水症状になりかねず、命にかかわります。そんなことからこのような習慣が生まれたのでしょう。東南アジアの別の国では、各家の前に飲み水の瓶が置いてあり、誰でも自由に飲んでいい、と言うところもありました。南国ならではの生活の知恵ですね。

ネビスには、理由は分かりませんが、山羊と羊が沢山います。大半は野生化したものだと思います。なお、南国のため、羊もウールはまともにおらず、丸裸のため、山羊と見分けがつかません。見分け方を教えてもらったところ、尻尾に着目し、尻尾が立っているのが山羊で、尻尾が垂れているのが羊、とのことでした。

さて、夕方近くになりJAのパスも近づいてきましたので、シャックに戻りQRV再開です。昨日のQRVの翌日ですので、JA局も期待して待っていると思います。そこで、昨日十分運用できなかった21メガのCWを中心に運用することにしました。案の定、今日は21.180でCWのCQを出すとJAからどんどん呼ばれ始めました。すぐにup指定のスプリット運用を始めました。

が、FT100Dは受信ノイズも少なく聞き易く、大変FBでした。この日はコンディションもよかったようで、JR5FGP/QRPとも交信できました。この局は、パイルを打ち破って聞こえてきましたので、よほどANTがいいのだらうと思います。なお、今回の一連の運用で交信できたJAのQRP局は、結局この局だけでした。

実は、QRP MLには、時々QRZ QRP?を打つから・・・とQSPしてあったのですが、FGではこれを忘れてしまい、V4でもまたこれを忘れてしまいました。後で考えれば、V4が一番条件がよかったようでしたので、この日のQRZ QRPをやらなかったことは大いに悔やまれました。大反省です。

その後、この日のJAのパスが終わる直前に、リグをお借りしたJR7FBR吉田さんと無事交信できました。1時間以上も呼び続けてやっと交信できたとのことでしたが、ご自分のリグと無事交信できたわけです。私もホッとしました。JAの朝9時過ぎ(現地の20時過ぎ)にはJAとのパスも終わりましたので、長居は無用と思い、ここでV4での運用は終わりとなりました。合計交信局数は441(CW 362, SSB 79)でした。

V4のアマチュア無線局は必ずしも多くはないようですが、皆知り合いのようで、アールは写真の通りの体格なのでタワーには自分では登らず、ANTいじりが好きなローカル局2名がANT作業してくれる、とのことでした。なお、サフィックスの最初のNはネビス島を、Kはキツ島を以前は表していたそうですが、免許の担当官が変わった後は、NでもKでもないサフィックスの発行も始まったそうで、訳が分からなくなった、とアールは言っていました。

いずれにせよ、今回のV4からの運用に関しては、突然の訪問を快く受け入れてくれたアールには感謝の言葉もありません。日本からの来客がまたあれば歓迎したいと言っていました。彼の場合、お金は受け取らないと思いますので、行かれる方は、島では需要の多い2m関係のリグ(ハンディ機とか、リピータ対応の車載用リグなど)をプレゼントしてはどうかと思います。カリブの島々は2mのリピータでつながっており、非常時の貴重な通信手段になっているようです。私が次回お邪魔する機会があれば、FT990用のCWフィルターをプレゼント代わりに持参する約束になっていますが、果たして実現するのでしょうか？

なお、彼(V44NEF)は21.365のLETネットに頻りにチェックインしてるそうですから、聞こえていましたら、是非声をかけてあげてください。私の岩手の設備では、届くかどうかぎりぎりです・・・(次号に続く)

メカニカルフィルターのメンテナンス

JA7QQQ 中村 浩

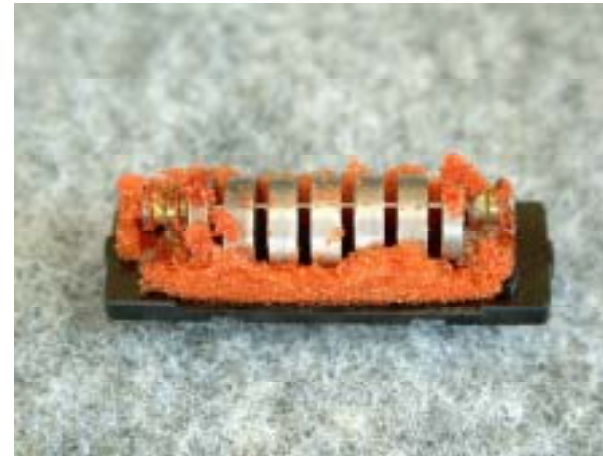
往年の名器と言われる、FR-DX400やJR-310等の受信機をお持ちのOM諸氏も沢山おいでかと思いますが、皆様のRXの受信感度は如何なものでしょうか。

私の所有するFR-DX400もご多分に漏れず、当時の高級受信機としての性能など、微塵も感じさせない只の真空管Rigオブジェと化しておりました。

電気的な部分のメンテナンスはコンデンサの交換やトラッキングの取り直しで一応の

改善は見られました。しかし、こんな物じゃ無いはず、子供の頃OMさんの所で聞いた時はSメーターがもっとガンガンに振っていたはず、いくら昔の設計だと言っても7MHz位は今のRigと変わらないはずだ。そこで思い出したのが、遙か昔HAMJournal誌に紹介されていたメカニカルフィルター(以下メカフィル)の分解修理でした。

この写真はJA7KVD大森さん所有のFRDX400の物です、JR-310にも同様のメカフィルが使われております。



分解修理と言ってもフィルターそのものを修理出来るわけではなく、フィルターの機械的な動作を復元してやるわけです。

左の写真をご覧下さい、金属ケースの爪をこし取り外すと、フィルターエレメントを囲っているスポンジが劣化してベタベタした状態でメカフィル本体に張り付いてしまっています。こんな状態ではメカフィル本来の振動をしてくれるはずがありません、あの感度低下の原因が良く判ります、中には全く受信が出来ない症状の物も有るようです。

根気がいるのはこれからです、まずピンセット等を使い、この妖怪?化したスポンジの撤去を行います。

全く弾力が無く、押さえ込むとそのまま糊状に振動子に張り付いてしまいますので注意が必要です。

この作業にはピンセットの他、爪楊枝、ベビーパウダーを準備して下さい。

ベビーパウダーはスポンジ取り除き作業中に振動子にスポンジが張り付かないように、少量振りかけながら作業をします。

又、爪楊枝は振動子に傷つけないように作業するために必要です。

根気のいる仕事が終わりましたら、今度はエレメントごとアルコールで洗浄します、アルコールはメタノールでかまいません、この手の文献によるとイソプロピルアルコールが良い、等と書いて有りますが、メタノールで充分です。しかし、戦いはこれからです。

ベビーパウダーの使い道がまだ有りました。(次号へ続く)



定例ミーティング

4月の定例ミーティングは会場の都合により、日程を次のように変更します。

4月11日(金) 18:30~21:00

編集後記

やっとメカフィルのメンテナンスを掲載できました、最近個人的にVYQRLで無線をやっておりますでした、クラブニュースを編集する時やNETを覗く時だけHAMに戻っております。

先日、総務省の無線局免許情報検索がスタートいたしました、次のURLをご利用下さい。

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/musen/index.htm>

JA7MFL 020-0108 盛岡市東黒石野1-8-10 須藤 裕

電話 019-661-7466 メール ja7mfl@mx5.nisiq.net

JA7QQQ 028-3303 紫波町高水寺字田中177-24 中村 浩

電話 019-672-2958 メール genkou@radiomorioka.com